

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 季節の移り変わりを感じます

若かりし頃、「さつき青葉のしみる頃、咲くは深山の紅つつじ、吹かせ給うなそよ風よ、乙女の胸の花園に」などと書き綴った昭和の時代を懐かしく思い出したりします。そして一日一日と年を重ねるたびに思い出は増えていくと実感…。さて5月も終わりに近づくと、色とりどりだった新緑も日ごとに緑を増して色濃くなっています。カルスト台地の石灰岩も草の陰に隠れはじめ、緑の草原へと変化していきます。秋吉台の景色も草花も春から初夏へと移りかわる頃です。



季節の花 シランの白花種はシロバナシラン

オカオグルマ 秋吉台の特にカルストロード沿いでよく見られるキク科の多年草。全体に白い毛におおわれています。花は数個がまとまって付いており、伸び始めた新緑の中で目立つ存在です。

キツネアザミ 不耕作地や荒れ地などで見かける越年草。淡い紅紫色の花がかわいい感じですが、長持ちせずすぐに傷むようです。今年は例年になく大繁殖しています。

シラン (シロバナシラン) 草原の日当たりのよいところに自生するラン科の花。よく栽培されていますが、元々は自然界にあったものでしょう。寒さに弱く、遅い霜が降りた時は、花が傷みやすく写真写りもよくありません。紫蘭ということで紅紫色の花が多いのですが、ここでは全部が白花です。だったら白蘭…。



観察会「カエルが待っている」(5月3日)

観察会「カエルが待っている」を行いました。田原先生の自宅前でカエルについて説明を聞いた後、さっそく裏山の沼地、田んぼのビオトープに出かけました。田んぼのビオトープではカエルがしきりに鳴いていますが姿は現しません。参加者たちは網を使ってカエルだけでなくその他の生き物を見つけて楽しそうです。今日はタゴガエルやアカハライモリなど10種類の生き物を観察しました。



観察会「花盗人の花日記」(5月18日)

初夏の花の観察会「花盗人の花日記」を行いました。天気は快晴、気温も上昇。時折吹きぬける心地よい草原の風。花を観察して浅香先生の説明を聞きながら真名ヶ岳を散策しました。頂上付近でひと休みすると、近くの岩の周りにフナバラソウがいくつか見えました。今日の観察ルートでは期待していたムラサキには出会えませんが、ヤマサギソウや咲き始めたばかりのフナバラソウなどを観察しました。



タカサゴソウ 遠くからでも分かります

カルストロードを車で走行していた時、路肩に咲いている黄色い花が目に入りました。「おやっ」と思って引き返してみると、黄色いタカサゴソウでした。花だけを見るとジシバリに似ています。今までにクリーム色の花は、毎年どこかで見つけていましたが、こんなに濃い黄色の花は初めてです。また来年も出会えることを楽しみにしています。



6月の行事

- 6月 9日(日) 観察会「秋吉台のカタツムリ」
森の中や石灰岩に住んでいるカタツムリのようすを観察します。
- 6月22日(土) 観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」
野外での昆虫観察とカブトムシの育て方を学びます。